

# あさくち 議会だより

No.23

新しいグラウンドで  
全力疾走

平成26年  
9月定例会

平成26年10月1日発行

- ・9月定例会の主な議案 …………… P2
- ・7月臨時会 …………… P4
- ・委員会レポート …………… P5
- ・一般質問…………… P6



9月定例会は9月2日に招集され、  
18日までの17日の会期で開催しました。  
一般質問には代表質問2人、  
個人質問6人が登壇し、市政運営を質しました。

# 9月定例会



## 一般会計補正予算 7,954 万円を可決

### 一般会計補正予算

### 広島市豪雨災害見舞金に350万円

補正後総額 148 億 2,043 万円 (対前年比 +13.3%)

#### ○歳出の主なもの

事業名	内 容	金 額
広島市豪雨災害見舞金	広島市で発生した豪雨災害の被災者支援のため、災害見舞金を送るもの	350 万円
予防接種事業	10 月から水痘、成人用肺炎球菌ワクチンの定期予防接種の実施	1,119 万円
放課後児童クラブ施設整備事業	金光のびっこクラブ施設の増築のための実施設計委託料	353 万円
子育て支援施設整備事業	親子で気軽に利用できる施設整備を検討するため、基本構想を策定	200 万円
小規模ため池補強事業	農業用ため池施設の改修	1,065 万円
道路維持補修事業	道路の維持補修費	1,960 万円
学校施設耐震補強事業	鴨方中学校校舎耐震補強工事の追加実施に伴う設計委託料	665 万円

### 特別会計補正予算

会 計 名	内 容	補 正 額
介護保険	過年度歳入返還金など	527 万円

# 主な議案

## 条例

○いじめ問題対策連絡協議会等条例の制定

いじめ防止対策推進法により、いじめの防止対策を総合的・効果的に推進するため、「浅口市いじめ問題対策基本方針」を策定し、連絡協議会や専門委員会を設け、対策を行うもの。

子ども・子育て支援新制度に向け

## 条例を制定

○家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

児童福祉法に規定された子ども・子育て支援新制度の保育事業の認可基準を定め、施設の適正な運営を図るもの。

・家庭的保育（保育ママ）

家庭的な雰囲気のもとで、少人数（定員5人以下）を対象に保育者の居宅などできめ細かな保育を行うもの。

・小規模保育

少人数（定員6人～19人）を対象に、家庭的保育に近い雰囲気のもと、きめ細かな保育を行うもの。

・事業所内保育

会社の事業所の保育施設などで、従業員の子どもと地域の子どもを一緒に

保育するもの。

・居宅訪問型保育

障害・疾患などで個別のケアが必要な場合や施設がなくなった地域で保育を維持する必要がある場合などに、保護者の自宅で1対1で保育を行うもの。

○特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定

特定教育・保育施設（認定こども園、幼稚園、保育所）と特定地域型保育事業（家庭的保育事業等）の運営に関する基準を定め、適正な施設運営を図るもの。



幼稚園の授業（鴨方東幼稚園）

○放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

児童福祉法の改正により、「放課後児童クラブ」の設備、運営の基準を条例で定めるもの。

## 人事

○人権擁護委員の推薦について

三好孝治氏を人権擁護委員として引き続き適任としました。また田中二三一氏を新たに適任としました。任期は3年間。

## 請願・陳情

次の請願・陳情を採択し、関係機関に意見書を提出しました。

### 【採択】

○食料自給率の向上を最優先した「農政改革」を求める請願

・提出者 岡山県農民運動連合会  
・紹介議員 桑野 和夫

○少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2015年度政府予算に係る意見書採択の要請

・提出者 岡山県教職員組合  
笠岡浅口支部  
・紹介議員 大西 洋平

○ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する請願

・提出者 全国B型肝炎訴訟  
広島原告団岡山支部  
・紹介議員 大西 洋平

○海洋環境整備事業の充実と体制拡充を求める陳情

・提出者 国土交通労働組合  
中国港湾空港支部

次の陳情は不採択としました。

### 【不採択】

○「特定秘密保護法の廃止を求める意見書」採択についての陳情

・提出者 岡山県労働組合会議

○集団的自衛権についての憲法解釈変更をしないよう関係機関に意見書を提出することを求める陳情

・提出者 岡山県平和委員会

## 決算認定

平成25年度決算の認定に関する10議案は、各常任委員会に付託し、閉会中の継続審査事件としました。11月に行われる常任委員会で慎重に審査し、12月定例会で採決されます。

審査内容は次号に掲載します。

# 7月臨時会

臨時会を7月16日に開催し、次の議案を審議しました。

## 契約

### ○工事請負契約の締結

学校給食センター本館棟機械設備工事について、7億2252万円で契約を締結するもの。

## 一部事務組合議会の人事

浅口市が近隣市町と共同して事務を行う一部事務組合の議会が開かれ、当市議会議員が次の役職に就きました。

### ◆笠岡地区消防組合



副議長  
柚木 毅

### ◆岡山県西部環境整備施設組合



副議長  
原 彰

### ◆岡山県西部地区養護老人ホーム組合



副議長  
香取 良勝

### ◆岡山県西南水道企業団



副議長  
大西 恒夫

### ◆岡山県西部衛生施設組合



監査委員  
井上 邦男

## 議案に対する賛否

### ◎7月臨時会

〔○〕賛成、〔×〕賛成でない、〔-〕不参加、〔欠〕欠席

議案名	議員名	浅政会					政和会		無党派							議決結果					
		田口桂一郎 (議長)	大西 洋平	柚木 毅	中西 美治	原 彰	平田 襄二	伊澤 誠	井上 邦男	藤澤 健	香取 良勝	大西 恒夫	青木 光朗	加藤 淳二	桑野 和夫		岡邊 正継	竹本 幸久	佐藤 正人	福田 玄	
議案第46号	工事請負契約の締結		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

※議長は採決に加わりません。

### ◎9月定例会

〔○〕賛成、〔×〕賛成でない、〔-〕不参加、〔欠〕欠席

議案名	議員名	浅政会					政和会		無党派							議決結果					
		田口桂一郎 (議長)	大西 洋平	柚木 毅	中西 美治	原 彰	平田 襄二	伊澤 誠	井上 邦男	藤澤 健	香取 良勝	大西 恒夫	青木 光朗	加藤 淳二	桑野 和夫		岡邊 正継	竹本 幸久	佐藤 正人	福田 玄	
議案第47号	浅口市いじめ問題対策連絡協議会等条例の制定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第48号	浅口市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第49号	浅口市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第50号	浅口市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第51号	浅口市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第52号	平成26年度浅口市一般会計補正予算(第2号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第53号	平成26年度浅口市介護保険特別会計補正予算(第2号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第54号	市道路線の認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第55号	市道路線の変更		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	適任
発議第8号	海洋環境整備事業の充実と体制拡充を求める意見書		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
発議第9号	食料自給率の向上を最優先した「農政改革」を求める意見書		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
発議第10号	少人数学級の推進など定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
発議第11号	ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する意見書		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
請願第1号	食料自給率の向上を最優先した「農政改革」を求める請願		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
請願第2号	少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2015年度政府予算に係る意見書採択の要請		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
請願第3号	ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する請願		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
陳情第1号	海洋環境整備事業の充実と体制拡充を求める陳情		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
陳情第3号	「特定秘密保護法の廃止を求める意見書」採択についての陳情		○	×	×	×	×	×	○	×	×	○	○	○	×	○	×	○	×	不採択	
陳情第4号	集団的自衛権についての憲法解釈変更をしないよう関係機関に意見書を提出することを求める陳情		○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	不採択

※議長は採決に加わりません。

# 委員会レポート

9月定例会までに開催された委員会の審査内容をお知らせします。

## 総務文教 常任委員会

○8月8日

2件の陳情を審査しました。いずれも意見が分かれ、起立採決の結果、2件とも不採択となりました。

・「特定秘密保護法の廃止を求める意見書」採択についての陳情

【採択の意見】  
特定秘密の規定が非常にあいまいである。

国民の多くがこの法に反対している。

【不採択の意見】

世界における現在の日本の立場からすれば、何らかの制約は必要。

## 民生 常任委員会

○8月8日

・集団的自衛権についての憲法解釈変更をしないよう関係機関に意見書を提出することを求める陳情

【採択の意見】

世論調査では、多くの国民が集団的自衛権の行使に反対している。

今後、閣議決定の撤回を求める声が大きくなる可能性がある。

【不採択の意見】

7月1日にすでに憲法解釈変更の閣議決定がなされており、時機を逸している。

集団的自衛権については今後国で法令制定の過程において議論されることになる。

## 産業建設 常任委員会

○8月4日

陳情を審査し、全会一致で採択すべきものと決定しました。

・海洋環境整備事業の充実と体制拡充を求める陳情

【採択の意見】

海洋環境整備事業の充実と、非常災害時の緊急支援助資の輸送や港湾機能の維持・早期復旧を行う防災体制の拡充を国に求めるという趣旨は適当。

## 都市計画調査 特別委員会

○7月17日

鴨方町域と里庄町で構成する鴨方都市計画区域と金光町域が、統一的な



都市計画区域の現状

土地利用規制等により、一体的な土地利用の実現が図られる場合には、金光町域を鴨方都市計画区域に編入し、新たな都市計画区域として再編することを岡山県が検討することとされています。一体的な土地利用の実現を図るとは、現在は規制の緩やかな鴨方都市計画区域に、新たに土地利用の規制をかけることになるため、住民の理解が得られないのではないかと懸念されています。

また、金光町域を鴨方都市計画区域と同じとするのを岡山県に要望しているが、県の方針と隔たりが大きく、協議が難航しているとのことですが、

なお、浅口市総合計画の策定に合わせて、都市計画に関する市民アンケート調査を行う予定です。



浅政会 代表  
中西 美治

## 質問項目

- 市の防災事業について
- 学力向上事業について
- 定住促進事業について

### 浅口市の防災事業について

**問** 今年度改訂予定のハザードマップの変更点は。

**答** 岡山県の南海トラフ巨大地震の被害想定に基づき、最新の津波浸水想定区域を反映させ、土砂災害警戒区域の最新情報を掲載する予定。

**問** 土砂災害警戒区域の住民へどう説明しているか。

**答** ハザードマップを大いに活用し、地域への出前講座で啓発していきたい。

**問** 避難所の運営組織のあり方、運営マニュアルを整備しては。

**答** 避難所運営は市職員を配置し、自主防災組織等関係者の協力のもと運営する。具体的なマニュアルの作成に積極的に取り組みたい。

**問** 南海トラフ巨大地震の際、地震発生から津波到達まで3時間

で3mとされているが、堰板の設置が間に合わないのでは。

**答** 堰板での対応箇所が20カ所程度残っている。県と協議し、ゲートへの改修を早急に進めたい。



防潮堤開閉ゲート

### 寄島・鴨方間の直通バスの運行を

**問** 定住促進、寄島地域の通勤・通学の利便性向上のため、寄島本庁舎（JR鴨方駅経由）間を結ぶ直通便のバス運行を。

**答** 市民の日常生活における交通手段の確保は重要な課題であり、定住促進のためにも公共交通体系の整備は必要である。市全体の公共交通がどうあるべきか研究していきたい。



政和会 代表  
井上 邦男

## 質問項目

- 学力向上 No.1 プロジェクトについて
- 給食センターについて

### 学力向上に向けた取り組みは

**問** 授業時間を増やすため、本年度から夏休み短縮を実施しているが、土曜授業を行う自治体もある。違いは何か。

**答** 学校での学習時間の増加が学力向上の確かな方策と考えている。土曜授業もその一環で、概ね1学期に1回程度と聞いている。

**問** 本市では様々な角度で検討し、小中学校の普通教室のエアコン整備による環境が整ったので、連続して1週間の学習時間が確保できる夏休みの短縮とした。

**答** エアコン整備やタブレット端末を導入したが、学力向上の成果はいつ出ると考えるか。何をもちって成果とするのか難しい。県下で初めて夏休みの授業を正式な授業とした。効果が出るものと期待している。

**問** 学力テストの結果は公表するのか。学校ごとに公表してもよいと思うがどうか。

**答** 市全体の状況は分析を行い、教育委員会議やホームページで公表する。学校の状況は各学校で保護者向けに公表し、数値等で序列化しないよう、わかりやすく文章での説明を考えている。

### 給食センターの食材の購入先は

**問** 来年度、新給食センターでの給食が始まるが、米・肉・魚など地元で扱えるものは市内業者から購入すべきでは。

**答** 給食食材の納入は、衛生管理や異物混入防止の基準を守ってもらわなければならない。新給食センターでは多量の食材を扱うため、納入業者に新たにお願する項目もある。できるだけ地元商店からの購入を検討し、関係者に説明していきたい。



**佐藤 正人**

## 質問項目

- 高齢社会の地域支え合いと介護施策について

### 高齢者支え合い サポーター事業の充実を

**問** 平成27年度の介護保険制度改革における「高齢者支え合いサポーター事業」の位置づけと今後の取組みは。

**答** 本事業は、利用者がサービスを通じ、地域とのつながりを維持でき、利用者の重度化の予防、自立支援の促進、サポーターの生きがいづくり等への効果がある。今後も積極的に取り組んでいきたい。

### 要支援1・2の支援対策は

**問** 平成27年度から要支援1・2の訪問・通所介護事業が市町村に移行され、訪問・通所サービスの低下が懸念される。運営側である市の人材確保が重要になる。厚生労働省は生活支援コーディネーターという地域支え合い推進員配置を奨励しているが、本市の考えは。

**答** 国から示されている、訪問型

サービス、生活支援サービス、通所型サービスと多様なサービスを利用していただくこととなる。訪問・通所サービスの質が大きく低下することはないと考えている。

来年度以降、専門的な人材等の確保も必要と考える。

**問** 医療・介護の一体的な取り組みが求められているが、方向性は。

**答** 平成27年度の介護保険制度の改正内容の中でも、在宅医療・介護の連携の推進が重要な項目としてあがっている。

平成30年4月までには医師会等と連携しつつ市町村を中心として取り組むことになった。地域で医療・介護の方々の「顔の見える関係」をどのように築いていくか関係機関と連携し検討していきたい。



**大西 洋平**

## 質問項目

- コミュニティの施設整備について

### 「コミュニティセンターの整備を

**問** コミュニティ活動推進のため、災害発生時に避難場所としての役割や地域防災の拠点の役割も果たす、総合的なコミュニティセンターを大字単位で充実させてはどうか。

昨年12月定例会で早急に検討するとの回答であったが、その後の状況は。

**答** 市内全体のコミュニティセンターや公会堂等の設置状況や管理運営の状況、維持管理等の経費、合併時の協議内容、施設に対する補助の要望等について整理し、取りまとめをしている。他の政策や地域間のバランス、今後の財政状況等も勘案し、総合的に検討を進めている。

**問** JA岡山西農協の旧西六店は西六コミュニティの活動拠点であり、西六地区の投票所でもある。また、西六地区には災害時の避難所もない。8月に廃止さ

れたが、これを市が直接コミュニティセンター及び広場として整備してほしい。

**答** 再来年度から交付税が削減される厳しい財政状況等、現在の段階ではコミュニティセンターの整備は非常に難しい。

当面の間、現在の建物や広場は使えらると聞いている。今後のJAの考え方を聞いて、情報を集めながら話をしていきたい。



JA 岡山西旧西六店



袖木 毅

## 質問項目

- 定住促進策について
- 東アジアの望遠鏡でまちづくりについて

### 定住促進策の方向性は

**問** 近年の市の人口増減は。また今後の推移をどう予測しているのか。定住促進策を進め、どの程度人口減少を食い止めるのか。

**答** 社会動態では転出超過が続いており、直近5年間で毎年平均110人減少している。出生・死亡の自然動態を加えると毎年平均342人の減少となる。平成27年に人口は3万5千人を割り、平成42年には3万人を下回ると予測されている。人口減少に歯止めをかけ、平成28年に3万5千人を目指したい。

**問** 住マイルプロジェクトでは、どのような事業を考えているか。若者が出ていかないように、また他のまちに出ていった人が帰ってくる策を検討してほしい。

**答** 30歳を対象に市の良さを再認識してもらう「三十路の集い」

住宅地の開発を促進する「あさくち住マイルロード促進事業」等のほか、移住者への住宅情報支援も行っている。行政サービスそのものが定住促進策であると考え、定住促進本部を中心に研究を進めたい。

### 東アジアの望遠鏡でまちづくり

**問** 京都大学が3.8mの東アジア最大となる望遠鏡を新たに設置する計画がある。天文台ができるかと訪問者が増えるので、道路標識の設置や観光看板を作成しては。

また、市内企業に呼びかけ、関連グッズを開発しては。

**答** 浅口市を全国に発信する絶好の機会。新天文台との共存共栄を目指し、京都大学と協議し地域の発展につなげたい。道路標識や関連商品の開発等、観光施策を検討したい。県、近隣自治体、経済団体等各方面へも積極的に働きかけたい。



大西 恒夫

## 質問項目

- 企業誘致の用地について
- 学校等の周年事業の支援金について
- 道の駅について

### 企業用地の相談窓口を

**問** 企業誘致が可能な民間の土地の相談窓口をつくり、積極的にまとめ、ホームページに掲載しては。

**答** 企業誘致が可能な用地情報は遊休地、企業跡地等に分類し、工業団地推進室が窓口となり取りまとめていく。民有地情報は不特定多数が閲覧するホームページには掲載せず、窓口や県を通じて問い合わせのある企業に情報提供をしている。

### 学校等の周年事業の支援金

**問** 学校創立周年事業の支援金などのような基準で支出しているか。また、規則を作るつもりはないか。

**答** 浅口市補助金等交付規則により、対象事業ごとに目的や内容を審査し、実施の可否を検討、過去の実績や市の財政事情を考慮し、補助金額を決定している。周年事業補助金は頻繁に発生

するものではなく、事業計画や規模も様々なため、補助金等交付規則のなかで適切に検討し実施していきたい。

**問** 同窓会の周年事業にも支援金を検討しては。

**答** 今後の課題としたい。

### 道の駅の整備を

**問** 国道2号バイパス工事は順調に進んでいるか。道の駅整備の検討はどうなったのか。

**答** I期区間の玉島阿賀崎から金光町佐方までは暫定2車線で予定通り、今年度中の供用開始と聞いている。II期区間は、鴨方町六条院中、六条院西地区で順調に用地買収が行われている。道の駅の整備は、バイパスや工業団地の整備による本線、側道の車の流れが予測可能となった段階で総合的に検討する必要があると考える。



**桑野 和夫**

## 質問項目

- 下水道事業の進捗状況と下水道負担金について
- ごみの減量化について
- 地域支援事業について
- 子育て支援、定住促進へ、子どもの遊び場の確保について

### 受益者負担金の対象は

**問** 下水道受益者負担金の対象となる土地はどのようになっているか。

**答** 下水道整備された区域内の土地すべての受益地が負担金の対象。ただし農地、山林は宅地として使用するまでは徴収の猶予があり、学校用地、集会所、墓地などは減免を受けられるが申請の必要がある。

**問** 例えば畑がどのような状態なら徴収猶予等の措置を受けられるか。

**答** 土地のすべて、もしくは相当程度以上の部分が現況の地目と異なることや、土地に明確な区分けがあれば、宅地部分のみの負担金を徴収する。総合的に判断する必要があるので、早めに下水道課へ相談していただきたい。

### ごみの減量化への取り組みを

**問** プラスチック製容器包装などリサイクルごみの収集回数が増加や収集場所の確保に取り組んでは。

**答** 収集回数の増加は、収集運搬に相当の経費がかかるため現状の回数でご理解いただきたい。収集場所の確保は、資源ごみの回収拠点施設としてリサイクルセンターで行っている。

公共施設へ場所を設けるのは管理上の問題もあるが、今後十分検討する。

### 子どもの遊び場の確保を

**問** 保護者を中心に、市内に子どもの遊び場が少ないという声をよく聞く。早急に対応してほしい。

**答** 子育てしやすい環境整備は、優先すべき政策と考えている。子育て支援の拠点施設を整備するための基本構想を策定する予算を計上している。



**福田 玄**

## 質問項目

- 災害支援計画の策定について
- 農林水産業の産業化について
- ようこそ! 浅口ベイビーサポート事業について
- 市ホームページについて
- 健康福祉センターのカフェスペースについて

### 農林水産業の産業化の推進を

**問** 新規就農者を増やす取り組みは行っているか。農地を守るという考えからも国の青年就農給付金等を活用すべきと考えるがどうか。

**答** 県農林漁業担い手育成財団の事業を取り入れ、39歳以下の新規就農者に奨励金を交付している。定年後に農業を始める定年帰農者には、JA主催の農業塾の参加者に、鴨方町引野地区の「桃の団地化事業」への参加を呼び掛けるなどしている。

青年就農給付金では人・農地プランに位置付けた30歳代の就農者に経営開始型(最長5年間、年150万円)の給付を行っている。県農業普及指導センターや、JA等との連携を深め、農地の幹旋、就業奨励金や制度資金等各种施策の活用により新規就農者の確保に取り組むたい。また、オーリーブやアボカドなど、新しい品目に取り組む若い農業者の

支援にも取り組んでいる。

### ホームページをスマホ対応に

**問** スマートフォン対応のホームページをリリースしては。

**答** 情報を収集する市民の皆様と、情報を発信する市の双方にとって有益であるので早急に対応したい。

### 健康福祉センターのカフェスペースの改善を

**問** 備品を増強したり、オープンスペースを活用し、更なる賑わいの創出をしては。

**答** 事業者の要望等も聞きながら、来年度に向けて検討したい。オープンスペースは、衛生面や運営の問題もあるが、希望があれば相談に応じたい。



健康福祉センター前のオープンスペース

# 新学校給食センター建設工事 着工

8月6日、新しい学校給食センターの建設工事の安全祈願祭が行われました。  
議員も参列し、代表して議長が玉串を奉奠しました。  
新学校給食センターは、平成27年6月末の完成をめざしています。来年度2学期から供用開始の予定です。



## 傍聴へお越しく下さい!

傍聴は議会活動にふれる最も身近な方法です。

議員の一般質問や市政の方針を決定する議案の審議など、ぜひご覧ください。

当日の受付で、傍聴できますので、市役所3階の議会事務局までお越しく下さい。

(日程の詳細はホームページでご確認いただくか、事務局 ☎ 44-7010 にお問い合わせください。)

## ◆ 研修会に参加 ◆

8月22日、県下15市の議会議員を対象に研修会が行われ、浅口市議会議員も出席しました。

研修会では、中央大学大学院教授の佐々木信夫氏を講師に迎え、「地方議会をどう変えるか」を演題に講演が行われました。

佐々木氏は地方議会の役割として、「決定・監視・提案・集約」の4つを挙げ、これからは従前の決定機関・監視機能だけでなく、市民の意見を集約し、政策提案することが重要など、議会のあり方に触れられ、「地域が元気になる仕組みづくり」に努めてほしい」と述べられました。



## 声の議会だより

目の不自由な方にも議会の内容をお知らせするため、浅口はるか会のご協力により議会だよりを音訳しています。

## 表紙写真

9月6日、寄島中学校の体育会が開催されました。

絶好の秋空の下、昨年整備された広々とした運動場で、保護者や先生方の見守る中、生徒の皆さんは日頃の練習の成果を十分発揮し、素晴らしい演技を披露しました。

また、3年生は保護者と一緒に演技もあり、日頃の感謝の気持ちを表現していました。

## 広報特別委員会

委員長 平田襄二  
副委員長 伊澤 誠  
委員 福田 玄 佐藤正人  
桑野和夫 中西美治  
大西恒夫 大西洋平



議会だよりは再生紙を使用しています